

学校の課題解決に向けた 校内チーム制の効果的な進め方に関する研究

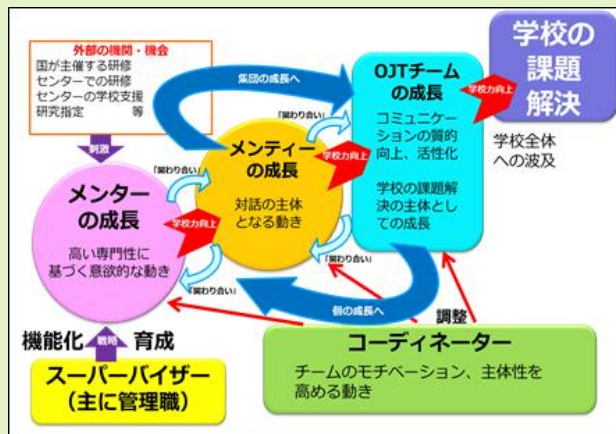
研究の目的

組織全体の変容につながる

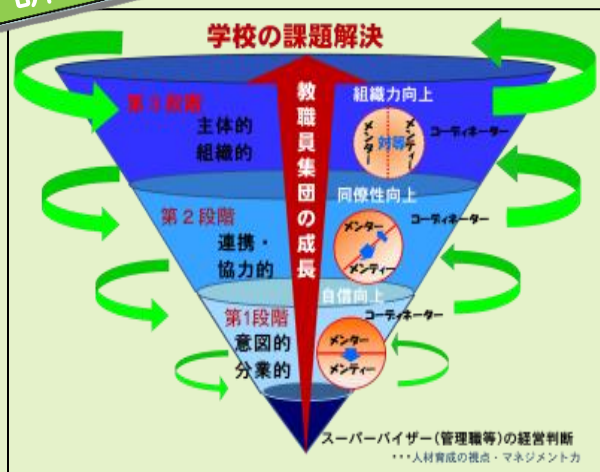
校内チーム制について

今、学校では業務を個別に行う組織から、チームとして取り組む組織への変容へと導く仕組みづくりが求められている。その一つとして活用できるのが、校内チーム制であると考えます。校内チーム制は、管理職のリーダーシップの元、メンターとメンティーの「関わり合い」が深化していく中で成長していくと考えた。

今回は、実践事例を基に学校の課題解決や組織の変容につながるプロセス等について提案する。



研究の内容



校内チーム制は段階的に成長します！

- 【第1段階】...管理職が意図的に位置付けてチームを組織する。
- 【第2段階】...学校の課題について日常的に話し合うことができ、メンティーが自信を付け、体験的リーダーとして活動できる。
- 【第3段階】...同僚同士が主体的に活発に「関わり合い」をもちながら組織全体で学校の課題解決に向かう。

研究の成果

「OJTガイドブック実践事例集～学校の課題解決に向けた校内チーム制の効果的な進め方～」の刊行

小学校・中学校・高等学校・特別支援学校4校の協力校の取組から見てきた効果的なアプローチの仕方について実践事例を基に現状分析を行いながらまとめた。



研究の活用

研修講座及び学校支援における活用
経験年数別研修を受講する教員の校内研修での活用
研究成果を踏まえた実践事例集の作成による普及